



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034
 東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル
<https://www.alpa.or.jp/>
 発行日 2022年3月30日
 発行NO 2021 - 50号

第5回理事会を開催し、令和4年度の活動計画・予算を決定

開催日時 3月23日



◎ 金子理事長の挨拶概要

コロナ禍で対面式の開催が難しく、Web会議となった。畜産の生産現場もロシアとウクライナの戦争で多大な影響を受けている。生産者の皆さんは畜産物価格が上がらない一方で、飼料の高騰などで経営が大変な中、一人の落後者も出さず、国民生活に大切な畜産物生産に励んでおられる。全日畜は皆さんがこの危機を乗り越え生産を続けていけるような方策を考えて活動していきたい。

◎ 主な議題は令和3年度の活動報告と令和4年度の活動計画・予算案でした。

① 令和3年度のおもな活動・会計報告

令和3年度の活動は、年度当初から新型コロナウイルス感染症の拡大が続き全国的に緊急事態措置、まん延防止等重点措置地区の設定などで活動が大きく制限されたが、Webの活用や秋から年末にかけての小康状態の時期に活動を集中するなどして当初計画した活動は実施できたとして了承されました。

- ・ JRA畜産振興事業 自然災害に強い畜産経営の実現調査事業 (2か年事業の最終年度)
- ・ JRA畜産振興事業 農畜連携による畜産経営の強化調査事業 (2か年事業の初年度)
- ・ alic養豚経営安定対策補完事業 養豚農業実態調査
- ・ 要請活動 12月22日、23日に国会議員、農水省幹部を訪問、生産現場の現状を説明対策を要請
- ・ 他団体との連携事業 ○11月19日工業会と共催で「スマート畜産技術は日本の畜産を救うか?!」と題したWebLive方式のパネルディスカッションを開催
○関東甲越・千葉県全日畜主催の「畜産講演会」を後援 等

令和3年度の会計執行状況については、新型コロナウイルス感染症対策としてWeb会議が多くなった関係で会議費、旅費交通費及び8月の事務所移転に伴う事務室借料が少なくなったため支出は減少する見込みと報告し、了承されました。

② 令和4年度の活動計画、予算を承認

令和4年度の活動は、Withコロナ時代で大きく変化する国民の生活様式に畜産も対応するため、情報を早期に正しく捉えて対応し会員と共有することを基本に、JRA事業1件(翌日新規1件の採択通知があり現時点で2件)の調査事業を柱に要請活動、関係他団体との連携事業等を前年度同様に実施することが承認されました。

令和4年度予算は、収入は、会費を前年度同の額として会員の減を見込み、支出は、今後の活発な活動を進めるため会議費、旅費交通費等をコロナ禍以前の水準まで戻すとともにWebセキュリティー対策費を増額した予算案を提案し、承認されました。

(文中での団体の略称標記について)

- ・ 一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・ 一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・ 協同組合 日本飼料工業会 (工業会)
- ・ 一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)

3月16日 第4回運営委員会を開催



今回も新型コロナウイルス感染症の拡大によりWeb会議となりました。令和3年度のこれまでの活動報告、予算の執行状況を報告し、了承を得ました。合わせて、最終年度を迎えたJRA畜産振興事業の自然災害に強い畜産経営の実現調査事業の事務局が行った自己評価については、「災害対策マニュアル」は、実際に災害に遭われた生産者の生の声が反映されており、BCP対策にも活用できて生産者をサポートしていくための良い取り組みであったという意見を得ました。

令和4年度の活動・予算の計画については、今年度に引き続きJRA事業を実施するとともに「要請事業」、「広報事業」、「地域全日畜及び県全日畜との連携事業」、「関連団体(工業会・全日基・基金協会、等)との連携事業」、「機関会議事業」、及び「組織強化事業」なども引き続き、商系畜産経営者への有効な支援を基本方針に継続的に実施する等の了承を得ました。

12月22日(水)全日畜の金子春雄 理事長と鶴園眞佐彦 理事は森山 裕 衆議院議員と野村哲郎 参議院議員に議員会館で面会し生産現場の実情を話し意見交換を行いました。



森山 裕 衆議院議員



野村哲郎 参議院議員

12月23日(木)金子理事長、鶴園理事、松永理事は農林水産省で枝元事務次官、森畜産局長等幹部に面会し生産現場の実情を話し意見交換を行いました。



枝元農林水産事務次官との意見交換



枝元農林水産事務次官



森 畜産局長

全日畜セミナー「自然災害に強い畜産経営を目指して」を開催

令和4年2月1日 メルパルクTOKYOで開催しました。講師の(有)高秀牧場の高橋憲二氏が、令和元年に千葉県を襲った台風15号による風と停電被害等とそこからの復旧体験を酪農家の立場から講演。(有)サンファームの林共和氏が、同じく停電被害等とその後の対策などを採卵鶏経営者の立場から講演。全日畜神谷専門員がこの事業で実施したアンケートの分析結果を講演。同松原専門員が、本事業でとりまとめた自然災害危機管理マニュアル案について講演し、その後、参加者との意見交換を行いました。



意見交換会

新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、会場でのセミナー参加者を少数に絞りました。そこで、このセミナーの動画を全日畜ホームページに公開し広く広報しました。

全日畜 [ホーム](#) | [全日畜について](#) | [トピックス](#) | [お知らせ情報](#) | [資料室](#) | [イベント](#) | [お問い合わせ](#)

全日畜セミナー 講演動画はこちら

全日畜について

- お知らせ
- 協会経歴・アクセス
- 沿革

最新情報

2022/3/23	2022年3月の「畜産物産物の検定について」と「新鮮卵物の高品質化及び輸入の対策について」を実施しました。
2022/3/16	2022年3月の「畜産物産物の検定について」と「新鮮卵物の高品質化及び輸入の対策について」を実施しました。
2022/3/1	令和3年度の「全日畜セミナー」(自然災害に強い畜産経営を推進して)の開催動画を公開しました。(2022/2/31まで)
2022/2/2	2022年1月の「畜産物産物の検定について」と「新鮮卵物の高品質化及び輸入の対策について」を実施しました。
2021/12/27	2021年12月の「畜産物産物の検定について」と「新鮮卵物の高品質化及び輸入の対策について」を実施しました。